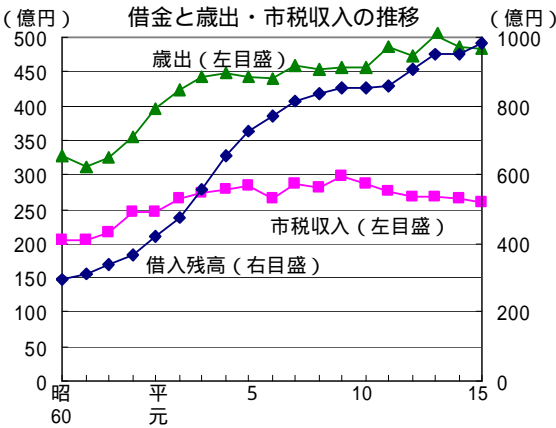


市民が作った市民のための日野市財政レポート

平成17年7月20日発行

ご存知ですか日野市の台所事情（平成15年度決算版）



日野市の財政大ピンチ！ 借金約1千億円！

厳しい財政状況を克服するには、市民のみならず、市民の知恵と協力が不可欠です。是非私たち日野市の行政を考へ、明日の日野市を創っていきましょう。多くの市民の皆様が私たちとともに行動していくことが、その第一歩です。

財政再建は、市民ひとり一人が
行政に関心を持つことから！

財政危機って本当？

「日野市は本当に財政危機なの？豊かな自治体じゃなかったの？」と思っ
ている方も多いと思います。しかし残念ながら実態は借金が984億円平成15年度末見込み)に達し、ピンチに瀕しています。

また、景気の低迷や高齢化社会の到来により市税収入が落ち込む一方で今後とも社会福祉や社会基盤整備の費用は、増加の傾向にあり、借金は拡大する予測されています。

財政危機を回避するため

このようなピンチに直面している日野市の財政を回復していくには、市が行財政改革に真剣に取り組む、人件費も含めた抜本的な経費削減と、計画事業や市民サービスの見直しなどを推進し続けていくことが必要です。

しかしそれだけではなく、市民一人一人が、市の財政状況に、自分の家計と同じくらい関心をもち、知恵を出し合い行動することが重要です。

私達「日野市健全財政を考へる会」は、多くの市民の方々に日野市の財政状況を理解して頂くために、この度日野市財政白書を発行しました。

これからまさに、市民と行政が協力して市の財政健全化に向け、市や市民や企業がそれぞれなにをなすべきかを議論し、実行する取組みが必要になります。

是非この取組みに多くの市民の方がご参加され、財政健全化に向け共に行動して頂くことをお願いします。当会の連絡先を本白書に掲載していますので、お気軽にご連絡ください。

健全財政を考へる会とは、
「日野いんぷらんせりおん」の財政改革プランの実現に向け、設立した市民と行政協働のプロジェクトチームです。
代表 菊地 修 副代表 石塚 向野

財政健全化に向けた取り組み

財政を健全化することは、単純には収入を増やし、支出を減らすことです。しかし、この健全化の究極の目標は、市民一人一人が自立した豊かで安全な生活環境を創ることだと考へます。

このため、当会では、市税収入確保への取組み(街の活性化策や企業活動支援等)、福祉や行政サービスの見直し、今後の社会基盤整備の在り方、行政改革の推進と監査の方法、などを議論しています。

その議論の中では、例えば市民が身近でできることとして、「日野市でできるだけ買物をする」「市からのサービスはタダでないこと(断る勇氣を意識しよう)」、「市の行政運営を市民の目でチェックしよう」などを市民行動計画として、具体的に推進しようと考えています。

この行動計画の作成と実行に、多くの市民の力を結集して、「日野いんぷらんせりおん」基本構想(基本計画)を確実に実現させ、我々の将来や子孫の未来のために、「住みます日野」を創っていきましょう。

市長からのメッセージ

市民がつくれた日野市財政白書ができました。

参画された市民の皆様のご努力に、このころから敬意を表します。

市の財政状況について、市民の目線で分析し、市民のご意見を語り、さらう。そんな白書がでないか、私は、常々こう思っていたところでありました。

行政用語で溢れた「行政の一人相撲」という形になることを避けたいと考えたからです。したがって、市民と行政の協働としながらも、行政側は資料の提供と意見の調整に留めるようにしました。

市民には分かりにくいと言われる公会計を十分に理解し、的確な分析を行った上で市民の負担についても忌憚のない提言を載せました。

結果として、画期的な「白書」ができたのではないのでしょうか。

日野市を愛する気持ち、日野市を真剣に考へて戴いている気持ちを私も十分に受けとめ、よりよい行政を目指して、更に努力して参りたいと考えています。

日野市長 馬場 弘融

連絡先:日野市企画部財政課
日野市神明一丁目十二番地の1
電話 042-956-1111(代表)
MAIL zaisei@city.hino.tokyo.jp

日野市財政Q&A

多くの市民のみならずは豊かだと思っていた日野市の財政がどうしてこんなに厳しくなってしまったのか？ またこのままにしておいたのではなにか？と疑問に感じたり、心配に思ったりすると思います。

このため、ここでは、財政状況が悪くなってきた背景や要因をQ&Aの形で紹介します。

その上で、今後これらの課題に対してどのように対処したらよいかを、みなさんと一緒に考えたいと思っています。

Q1 このまま借金が多くなりつつ、つづいたらどうなるのですか？

家庭でも借金が返しきれないほど増えると、自己破産の道をたどりま

これは市でも同じです。借金がこれ以上増えると、その返済が市民サービスのために使えるお金を圧迫し、最悪の場合、市の倒産に当たる財政再建団体へ陥ってしまいます。

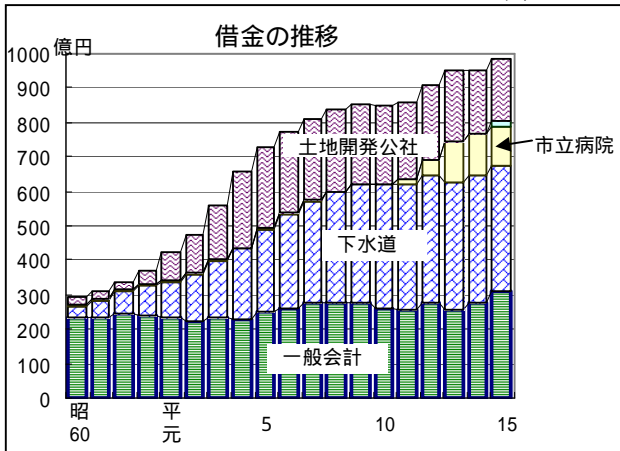
この財政再建団体になると市民サービスの削減だけでなく、公共料金の大幅な値上げや、将来に向けての投資の凍結が行われます。

これでは、私達市民もこれまで通りの生活は送れなくなりま

Q2 どうしてこんなに借金が増えてしまったのですか？

借金が増加した背景には、他市に比べ遅れている社会基盤整備を積極的に推進したことにあります。これらの事業は市民が豊かで安全な生活を送るために大変価値あるものですが、大規模な投資が必要であり市の財政へ大きな影響を与えています。

左図に示すようにバブル期（昭和63年）以降の土地開発公社による区画整理用地購入と、下水道整備等の事業が大きな要因となっています。また市民が要望した新市立病院建設にも161億円に及び財政支出が伴っています。

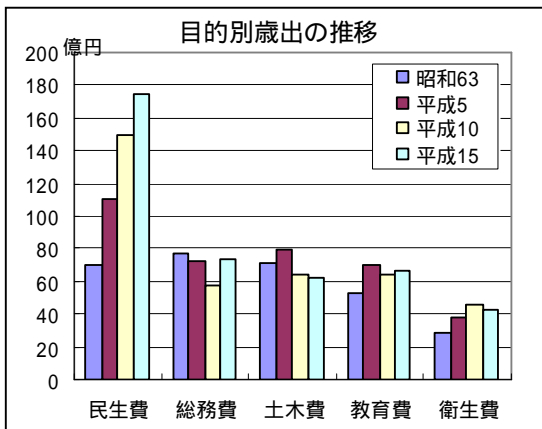


Q3 なぜこんなにJANETがお金がかかってこの状況か？

昭和63年から五年間の決算を見てみると、民生費の伸びが著しいことがわかります。この民生費は、高齢者や障害者、幼児、生活困窮者のための福祉費用や地区センター等の生活を豊かにするための費用です。

民生費の伸びは、この15年間で103億円であり、この間の歳出全体の伸び（130億円）の80%を占めています。今後本格的な高齢社会を迎えること、少子化対策がますます求められていることなどから、このままでは民生費はさらに増加することが見込まれます。

多くの借金を抱え、税収入も伸びも期待できない中、福祉の見直しを含めた行政財政改革が必須になっています。

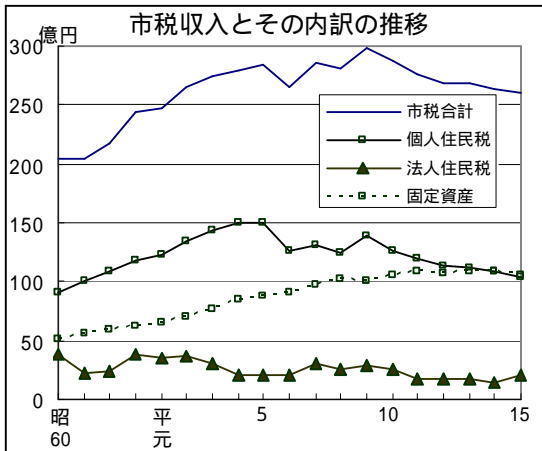


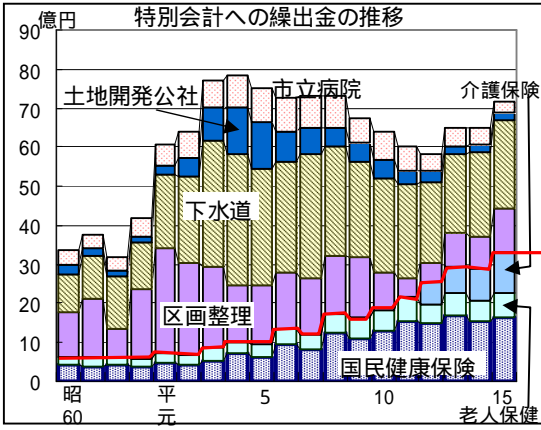
Q4 市の収入はどのようになっていますか？

市税収入は、平成9年度の約300億円をピークに、減少の二途をたっています。特に、市税収入の大部分は個人の住民税と固定資産税が占めています。しかし今後、これらの税収も、市民の高齢化に伴う納税者の減少や、地価の低迷傾向の継続により、減少方向となることが予想されています。

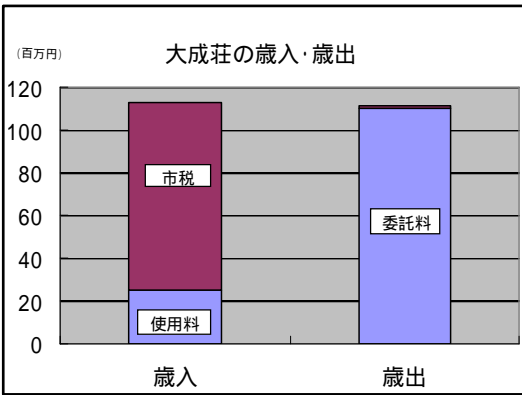
また、法人からの住民税収入は、景気の低迷とも相まって約20億円程度と意外と少ないことがわかります。

このように、市の財政を維持し、これまでの借金を返済するためには、日野市の企業よりも、その大部分が私たち市民一人一人の肩にかかってくることをご理解いただきたいと思います。

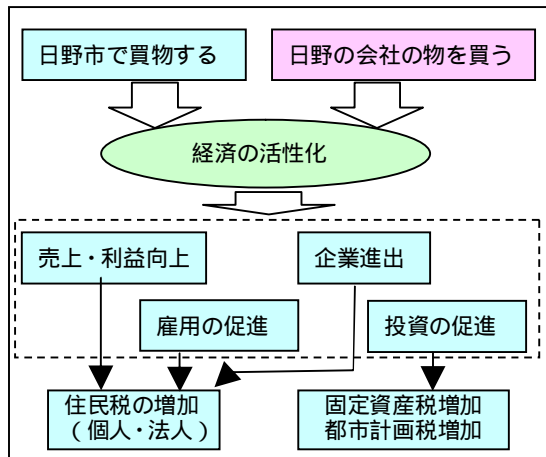




Q5 特別会計の状況は？
 特別会計の財政規模は平成15年で500億円を超え、一般財政を超える規模となつています。特別会計には一般会計から繰出金という形でお金が出ており、その健全化は重要な課題です。その繰出金のつち平成以降大きく伸びてきた下水道や区画整理等インフラ関係は平成8年以降減少傾向にあるものの、国民健康保険、老人保健、介護保険といった社会保障関係が大幅に伸び、繰出金の総額は増加傾向です。社会保障は一人一人の利用の積み重ねから自動的に市が支払う額が決まつてきてしまつたため行政側のコントロールが利きにくいという特徴があり、今後社会保障の特別会計を健全化することが重要で難しい課題となります。



Q6 公共施設の維持運営はどのくらい税金がかかっているの？
 公共施設は市民の文化交流や健康増進等に有効活用されています。だがこれら施設の維持運営にはその利用料の数倍の税金が投入されています。例えば大成荘では年間1億1000万円の維持運営経費のうち、利用料収入は2500万円(平均支払額2300円)でその3倍以上の8800万円(一人平均8000円)が市税で負担されています。さらに施設の建設費用の借金返済等に対する市税負担もあり、今後これら施設の必要性や有効活用策を再検討すると共に、利用料と運営経費の見直し(民間委託による経費削減等)を行うことが、将来に負の遺産を残さないためにも大変重要になります。



Q7 市の収入はどうやったら増えるの？
 市の収入、特に税収は法律等で税率などが決まっているので、増やすのは簡単ではありません。その中で収入を増やしていく策としては、まず税などの滞納を減らしていくこと、そして経済を活性化していくことが重要になります。経済の活性化のために市民がまずできることとしては、日野市で買い物をするとか、日野の地元企業の製品などをなるべく買うことがあり、今後健全財政を考える会で、キャンペーンを行なっていくことも考えています。また税の滞納は総額で300億円にも上っており市民として税金をきちんと納めることが非常に重要です。

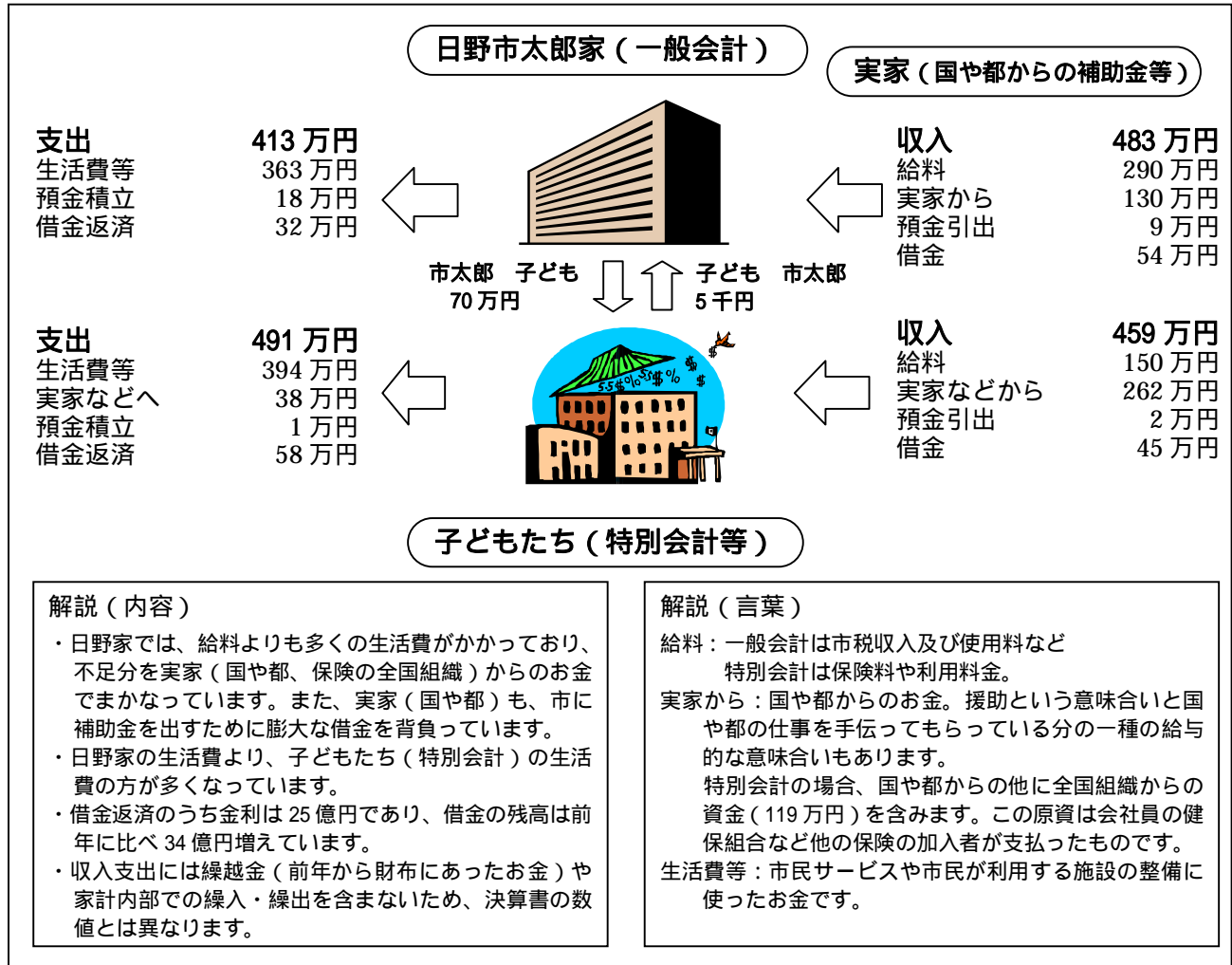
市職員の人件費
 総額1.7億円で、職員一人あたり77.5万円となります。
民生費
 高齢者や障害者、幼児、生活困窮者のための福祉費用や地区センター等の生活を豊かにするための費用です。
特別会計
 特定の事業の推進や財産の管理を目的に一般会計とは別立てで行つた会計。
土地開発公社
 あらかじめ市が使う予定の土地を買っておくことのために設立された会社。市が土地を使うときには買った値段に経費を上乘せした価格で買い取ることになっています。
土地区画整理事業
 公共施設の整備改善や宅地の利用増進を目的に、土地の区画形質及び公共施設の施設または変更を行う事業。日野市では今後約20年をかけた西平山地区などの区画整理を実施する予定。
下水道整備事業
 下水道を新設、改修を行い都市環境の改善、公衆衛生の向上と公共用水域の水質の保全を図る事業。日野市では平成22年100%設置(西平山地区を除く)を目標に約6.3億円を予定。
市立病院の会計
 新病院開業費用は1.6億円で、1.18億円は借入金(病院債)でまかれました。今後の維持運営のための毎年約3億円が一般会計から補助される見込みです。

公開！ 家計簿

日野市の

我が家の家計簿は細めにチェックしている、日野市の財政報告はよく分からないから関心もないという方が多いと思います。でも市の財政状況は私達の家計や生活に関わる重要なものです。

そこで、私達は市民の視点から、平成十五年度決算報告に基づき、日野市全体の家計簿を作成しました。是非この家計簿をご自分の財布の中と同じように中身をチェックし、有効な使い道を考えましょう。



日野市太郎家の家計調査

日野市太郎（日野市一般会計）は給料が290万円で、他に実家からのお金や銀行からの借金で生活しています。いまの借金の残高は、約308万円ですが、それは増える傾向にあります。

子どもたちは独立していますが、その生活には、給料収入150万円の2倍の以上の費用394万円がかかり、実家と日野市太郎家から支援で生活しています。また多額の借金（約676万円）を抱え、利子だけで18万円も支払っています。子どもの借金は、子どもたちがその返済をできない場合には、日野市太郎が返済する責任を負っています。

この家計を見て、皆さんはどのようにお考えですか？

「日野市太郎は年収以上の費用をかけて生活しており、贅沢し過ぎではないか？」

「日野家の子供たちは、給与の2倍以上の生活費を使っていて、問題ないのか。」

「このままでは借金が増える一方で、破産しないか心配だ。」

「これからの日野家の将来は大丈夫だろうか？」等、いろいろだと思います。

この家計簿で表示した金額の「万円」を「億円」に置き換えれば、日野市の平成十五年度の現実の金額になります。このように身近な例に考えると、実態がよく見えてきます。いかがお考えですか？